

2019年3月期第二四半期決算説明会

悪沢岳・蝙蝠岳(池ノ沢源頭から)



特種東海製紙株式会社

目次

- ・ 会社概要 (p1)

2019年3月期第二四半期連結決算概要

- ・ 第二四半期連結業績実績 (p2)
- ・ 営業利益の増減要因(第二四半期) (p3)
- ・ セグメント情報 (p4)

2019年3月期通期連結業績見通し

- ・ 2019年3月期連結業績見通し (p5)
- ・ 営業利益の増減要因(2019年3月期見通し) (p6)

「基盤事業の強化・変革」 産業素材事業

- ・ 新東海製紙(島田工場)のプレゼンス向上 (p7)
①～
③ (p9)

「基盤事業の強化・変革」 特殊素材事業

- ・ 新型ガラス合紙の品質アップによるシェア拡大 (p10)
- ・ ガスエンジン設置によるコスト削減 (p11)

「基盤事業の強化・変革」 生活商品事業

- ・ ユーザーニーズに合わせたバリエーション拡大 (p12)
- ・ トライフ ラミネート部門の新製品開発 (p13)

「成長戦略」

- ・ 研究開発品の売上目標(3年後) (p14)
- ・ 工業用機能性シートの新規開発及び展開 (p15)
- ・ ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 (p16)
①～② (p17)
- ・ 保護紙の海外展開 (p18)
- ・ 偽造防止用紙 ー海外に向けた取り組みー (p19)

会社概要

- 社名 特種東海製紙株式会社
- 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地
- 設立 2007年4月
- 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
- 資本金 11,485百万円
- 従業員数(連結) 1,456名(2018年3月)
- 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売
- 工場 三島、島田、岐阜、その他



2019年3月期第2四半期 連結決算概要

第2四半期連結業績実績

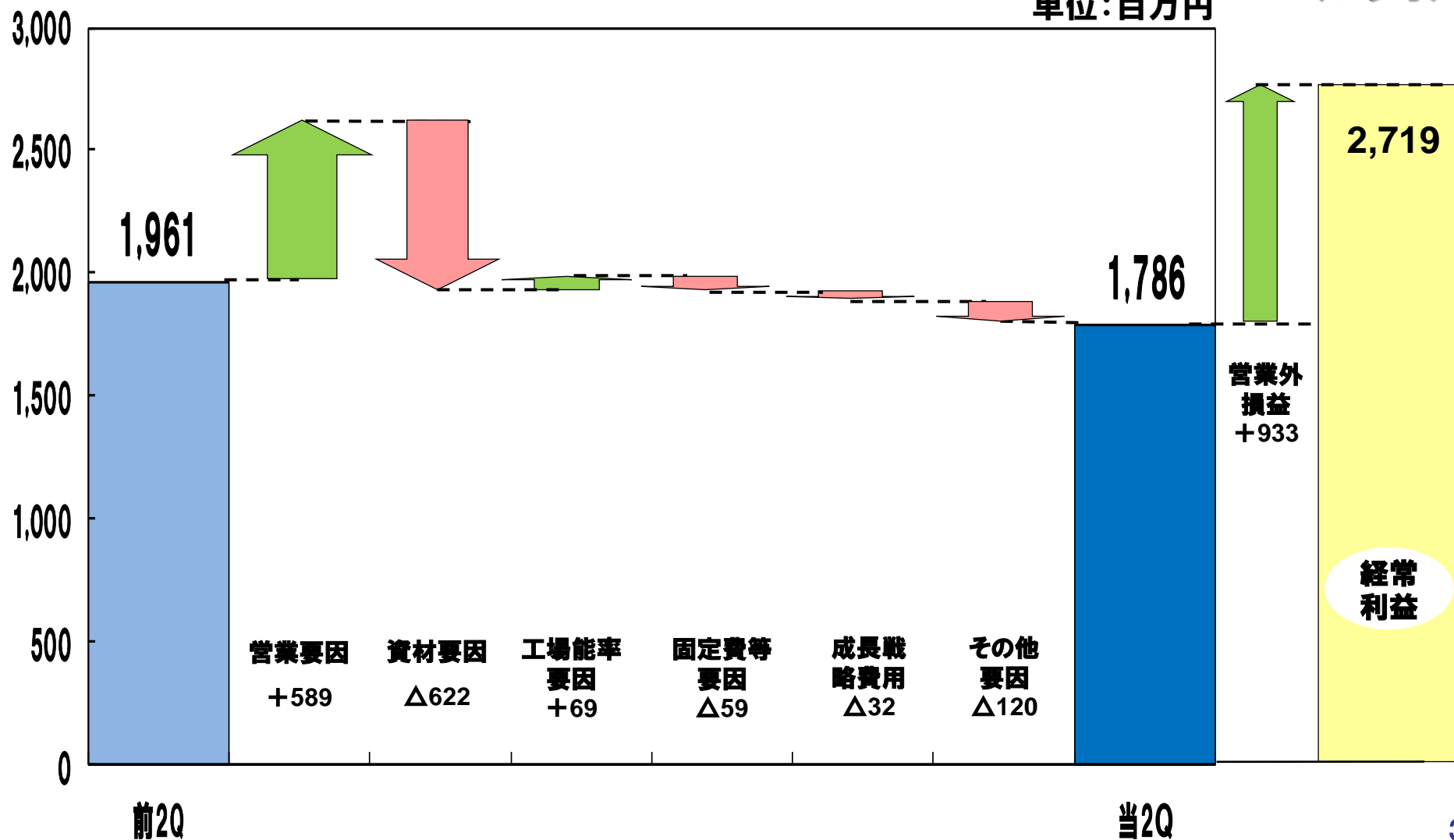
(単位:百万円)

	前2Q実績	今2Q実績	増減
売上高	39,727	39,287	△440
営業利益	1,961	1,786	△175
経常利益	657	2,719	+2,062
親会社株主に帰属 する当期純利益	360	1,993	+1,633
売上高 営業利益率	4.9%	4.5%	—

営業利益の増減要因(第2四半期)

単位:百万円

(ご参考)



セグメント情報

単位:百万円

		2018年3月期2Q	2019年3月期2Q	増減
産業素材 事業	売上高	20,835	19,914	△921
	営業利益	634	862	+228
特殊素材 事業	売上高	10,555	11,120	+565
	営業利益	1,039	906	△133
生活商品 事業	売上高	8,955	8,948	△7
	営業利益	391	118	△273
その他	売上高	2,409	2,731	+322
	営業利益	1	13	+12
消 去	売上高	△3,029	△3,428	△399
	営業利益	△105	△115	△10
合 計	売上高	39,727	39,287	△440
	営業利益	1,961	1,786	△175

※組織変更に伴い、従来「特殊素材事業」に含めていた特種メーテル(株)を「生活商品事業」に区分変更しております。

よって、先期数値は比較可能にする為組替を行っております。



2019年3月期連結業績見通し

2019年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)

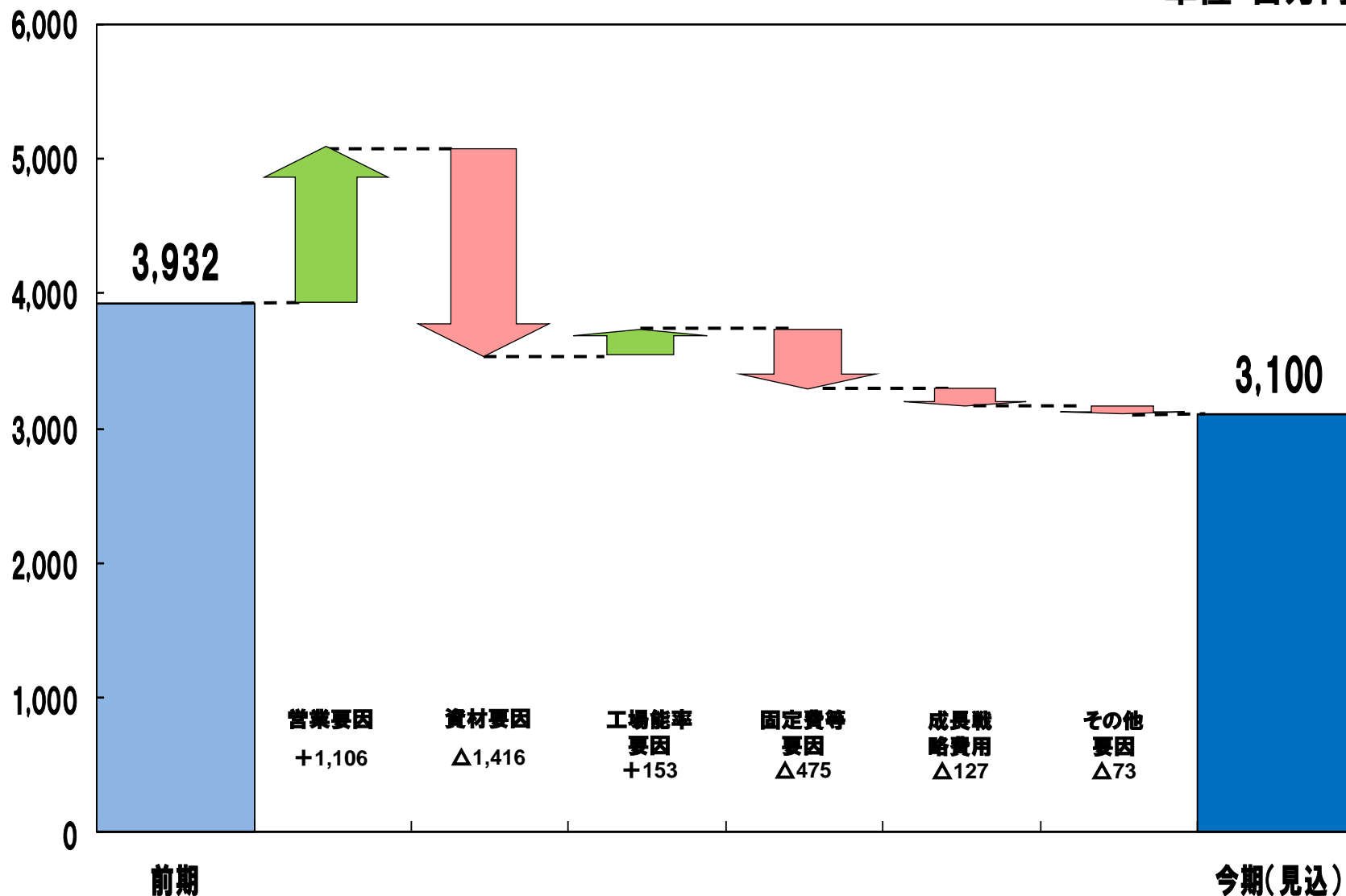
	前期実績	今期見通し	増減
売上高	79,086	80,000	+914
営業利益	3,932	3,100	△832
経常利益	3,202	3,900	+698
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,193	2,700	+507
売上高 営業利益率	5.0%	3.9%	—

前提 為替レート 上期110円/US\$ 下期110円/US\$

原油価格(ドバイ) 上期60\$/B 下期70\$/B

営業利益の増減要因(2019年3月期見通し)

単位:百万円





「基盤事業の強化・変革」

産業素材事業



新東海製紙(島田工場)のプレゼンス向上 ①

産業素材

日本製紙との提携に伴うシナジーの追求

- **島田工場の設備及び地の利を活かした提携スキーム**
 - 島田工場の競争力向上による、日本製紙との提携スキームにおける基幹工場としての存在感アップ
 - 段原紙生産の順調な増加
- **日本製紙グループの生産体制の再編成に伴うクラフト紙生産量の増加**
 - 島田工場6号機印刷用紙の生産終了と一部銘柄のOEM委託
 - 日本製紙(株)釧路工場6号機クラフト紙の島田工場6号機への移抄
⇒島田工場6号機の採算性と生産効率の改善
- **日本製紙(株)との古紙の共同調達開始**
 - ⇒古紙問屋にとっての安定納入先として利便性を強化することによる古紙の安定調達
 - ⇒調達物流の効率化によるコスト削減及び調達事務の集約化による作業の効率化

新東海製紙(島田工場)のプレゼンス向上 ②

産業素材

新東海製紙 ⇒ 重要な基幹工場へ

新東海製紙(島田工場)の生産量

	提携前 上半期 (2016年4月～9月)	提携後 上半期 (2018年4月～9月)	増加数量	増加率
段原紙	262千t	280千t	18千t	6.9%
クラフト紙	36千t	38千t	2千t	4.6%
クラフトパルプ(3K)	67千t	72千t	5千t	8.2%

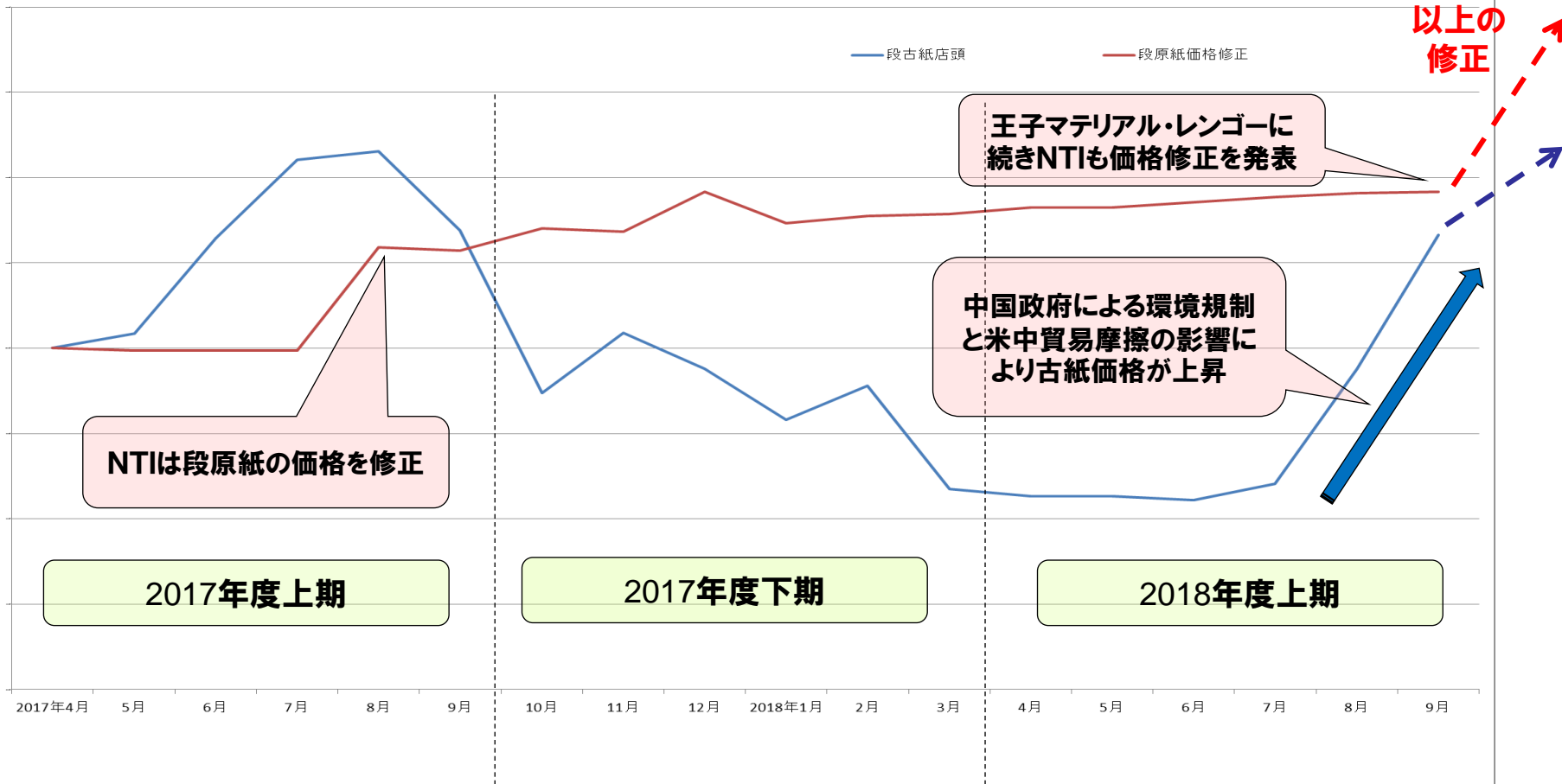
NTIの販売量に占める新東海製紙品の割合

	提携直後 上半期 (2017年4月～9月)	提携後 上半期 (2018年4月～9月)	増加率
段原紙	29.60%	30.08%	0.48%
クラフト紙	58.00%	65.40%	7.40%

新東海製紙(島田工場)のプレゼンス向上 ③

産業素材

段ボール古紙店頭価格と段ボール原紙価格修正の推移
(2017年4月を基準とした場合の増減率)



持分法損益 Δ 1,428百万円

持分法損益 +297百万円

持分法損益 +593百万円



「基盤事業の強化・変革」

特殊素材事業



新型ガラス合紙の品質アップによるシェア拡大

特殊素材

NaSFA

ガラス合紙の環境

- 今後の世界経済の成長に伴い液晶パネルの面積需要は増加している。
- 特にアジア及びインドを中心として面積需要は年率+5%程度を見込む。
- 中国・台湾・韓国 3か国にて世界のパネル市場の90%以上を占める。
- 中でも、液晶パネルの生産拠点はもはや中国が中心。
- 中国企業は製品の歩留まりを重視しており、ガラス合紙の品質に対する要求水準も高い。
- 一時的な在庫調整も終わった模様で堅調な需給バランスを維持。

対応

- μm レベルの微小異物を取り除く技術の確立による更なるクオリティアップを図り、世界シェアの拡大を目指す。



①当第2四半期売上高は前年同期を上回った

②販売数量は市場の拡大と同等の成長率を維持

ガスエンジン設置によるコスト削減

概要

- 特殊紙の主力工場である三島工場に、投資総額11億円(内、補助金3億円を予定)のガスエンジンを導入する。
- ガスエンジン発電出力 7,800kw
- 2018年12月 試運転開始予定



年間 約7,000tのCO₂を削減

効果

- 都市ガス購入に伴うコスト増を考慮の上、年間1.2億円のキャッシュメリットを見込む。



「**基盤事業の強化・変革**」

生活商品事業



タオル・ラミネート ユーザーニーズに合わせたバリエーション拡大

生活商品

NaSFA

水解性タオルペーパー



水解性

病院（介護施設）・カラオケ店・機内トイレで採用決定

手術室床用シート



粘着性

病院での採用事例が拡大中



安全性

食品包材
菓子包材

新商品投入しプラスチック容器からの代替を狙う



(株トライフ)

食品用シート



防滑性

通販封筒



緩衝性



抄紙機

3号ラミネーター

断熱性

建装材



バリア性

日本製紙とのコラボレーション
日本製紙“シールドプラス”にトライフのラミ技術を活用



2020年省エネ新基準に向けて 建材メーカー向けにウレタン素材ラミ製品を開発

トライフ ラミネート部門の新製品開発

(株トライフ)

生活商品

NaSFA

環境対応商品の投入

森林認証紙対象商品の増強

- ～9月 : 19銘柄保有 (上期中に9銘柄を開発)
- ⇒ ～10月 : 29銘柄保有(10銘柄を追加開発)
- ⇒ ～期末 : 36銘柄保有(更に7銘柄を追加開発)



プラ容器の減容化(紙化)への対応商品増強

食品一次容器用(直触れ可能な)加工板紙の
品揃えを強化

- 今期新商品2銘柄を追加
- ⇒ 全13銘柄保有





「成長戦略」

研究開発品の売上目標(3年後)

NaSFA

電気、電子分野 12億円/年

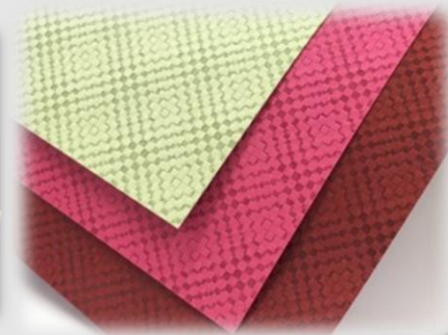
セパレーター
電気関連部材、工程紙等



売上目標
合計 約30
億円/年

ファンシー 10億円/年

海外ファンシー
国内ファンシー



試験研究費
10億円/年

その他 1億円/年

先端技術用工程紙
新規フィルター等



偽造防止分野 2.2億円/年

オリンピック関連
海外パスポート等



工業用工程紙 2.1億円/年

先端技術用工程紙、フィルター等



医療分野 0.7億円/年

医療用包装材等



生活商品 1.3億円/年

新規紙タオル・衛生用品等



工業用機能性シートの新規開発及び展開

NaSFA

内容

- 『ガラス合紙』の開発で培った、 μm レベルの微小異物を除去し、クリーンに設計されたシート
- 『工業用機能紙』の開発で培った、多種多様の特別な“種”で設計された高機能なシート

微小異物除去技術

◎ 工程紙

- ・ 二次電池 (供給開始) ⇒ 新たに引合い
- ・ 熱昇華転写 (製品化)
- ・ 電子材料 (開発中)
- ・ 磁性材料 (開発中)
- ・ 光半導体素子 (開発中)

◎ 支持体

- ・ 新規膜 (開発中)

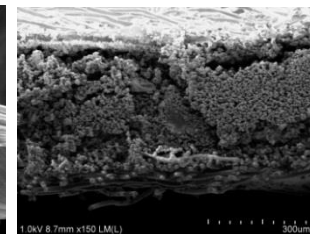
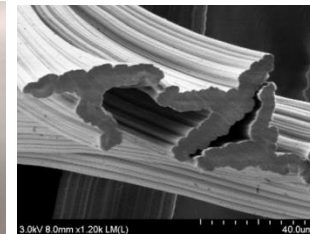
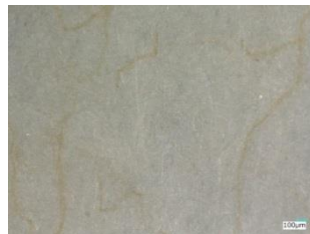
特別な“種”のシート化

◎ 化学繊維・薬品

- ・ 高機能ワイパー (開発中)
- ・ 建材シート (開発中)
- ・ 耐熱シート (開発中)

◎ 無機繊維・粉体

- ・ 新規 除染シート (開発中)
- ・ 消臭シート 2件 (開発中)



ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 ①

特殊素材

NaSFA

ターゲット・当初目標

初年度 目標
年間200t
2億円規模のビジネス

3年後目標は堅持

3年後 目標
年間1,000t
10億円規模以上の
ビジネス

高級品市場
(主に輸入品)
市場規模
約5千t~1万t

中国FP市場

市場規模
約20万t~30万t

スタートダッシュ
に成功!

スタートから約半年経過

今期の目標
年間200t ⇒ 900t
(9億円規模のビジネス)
※ 上期 既に約600t 販売済

今後の展開

- ※ 新商品の開発
- ※ 定番販売品の確保(スポット案件⇒定番案件へシフト)
- ※ 中国以外(アセアン諸国等)への展開を狙う

※市場規模は当社調べによる推定値

ファンシーペーパーの新市場としての中国展開 ②

特殊素材

NaSFA

ブランド認知活動

和紙楽活 (KAMI Lab.) 展示会

・北京 紙わざ展(9月初旬)

・北京 国際図書博覧会(8月下旬)



・北京 書芸紙術-20人展(10月初旬)



保護紙の海外展開

(株)TTトレーディング

特殊素材

NaSFA

環境

活動

中国では国を挙げて文化財保護の取組を実行中。
当社は北京系、博物館系に強みを持つが、

今後は上海系、美術館系への展開も狙う

保護紙商品例

当社アーカイバルボード使用保存箱



海外納入実績例

中国	韓国	台湾
故宮博物院 国家博物館 国家図書館 上海市歴史博物館 南京博物院 新疆自治区博物館	国家記録院 国立中央博物館 国立民族博物館 国立ハンゲル博物館 韓国学中央研究院 水原博物館	国立故宮博物院 国立台湾師範大学

展示会 (MPT-EXPO) へ出展 (11月中旬)

中国文化財局及び中国博物館協会主催の展示会



今後の展開

台湾・ベトナム等 その他のアジア地域
での博物館・美術館への展開を目指し
て活動を強化

例) 台湾にて博物館への販売スキーム
構築に向けて具体的案件を検討中

偽造防止用紙 —海外に向けた取り組み—

特殊素材

NaSFA

海外商権獲得への試み

- 海外販促活動の結果、海外から多数の引き合いあり。(ラベル、パスポートetc.)
案件受注に向けた開発を加速。
- 一方で、海外では偽造防止対策として、当社FPの採用の動きが進む。

海外での知名度向上

- セキュリティ分野における国際カンファレンスでの講演を予定。
2018.12 High security printing (ベトナム ハノイ)→本邦民間企業としては初講演
- 新技術提案により、当社技術力のアピール及び海外顧客の獲得を目指す。

前回大会風景 (2017 シドニー)



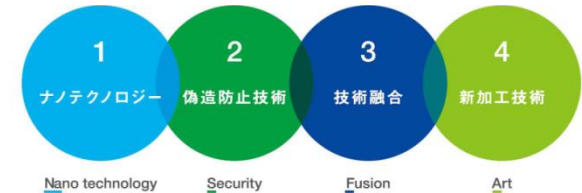
今回大会(2018 ハノイ)



(ご参考) NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology (ナノテクノロジーから広がる新たな可能性)
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security (偽造防止技術によるグローバル展開)
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion (技術融合による新市場の創造)
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art (新規加工技術による挑戦)
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減



お問い合わせ先：財務・IR室

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
ユニゾ八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。